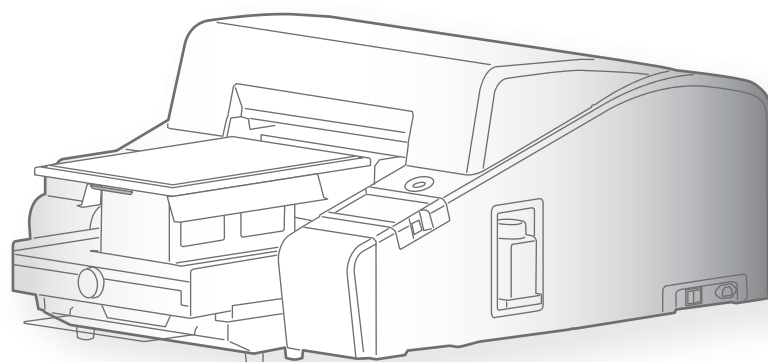


VJ-404GT/405GT

スタートアップガイド

設置と初期設定



開梱	2
ケーブルの接続.....	11
電源オン	13
プリンターの初期設定	14
Tシャツに印刷する.....	28
スリープモード.....	46
マニュアルの閲覧方法	48
安全にお使いいただくために.....	49
お問い合わせ先.....	55

-
- 本書の内容の全部または一部を、無断で複製・複製することを禁止します。
 - 本書の内容につきましては万全を期していますが、万一ご不明の点や、誤り、お気づきの点がございましたら、弊社またはお買い求めの販売店にご連絡ください。
 - 本書に記載された取扱方法以外の手順によって生じた故障、事故などにつきましては、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
 - 記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

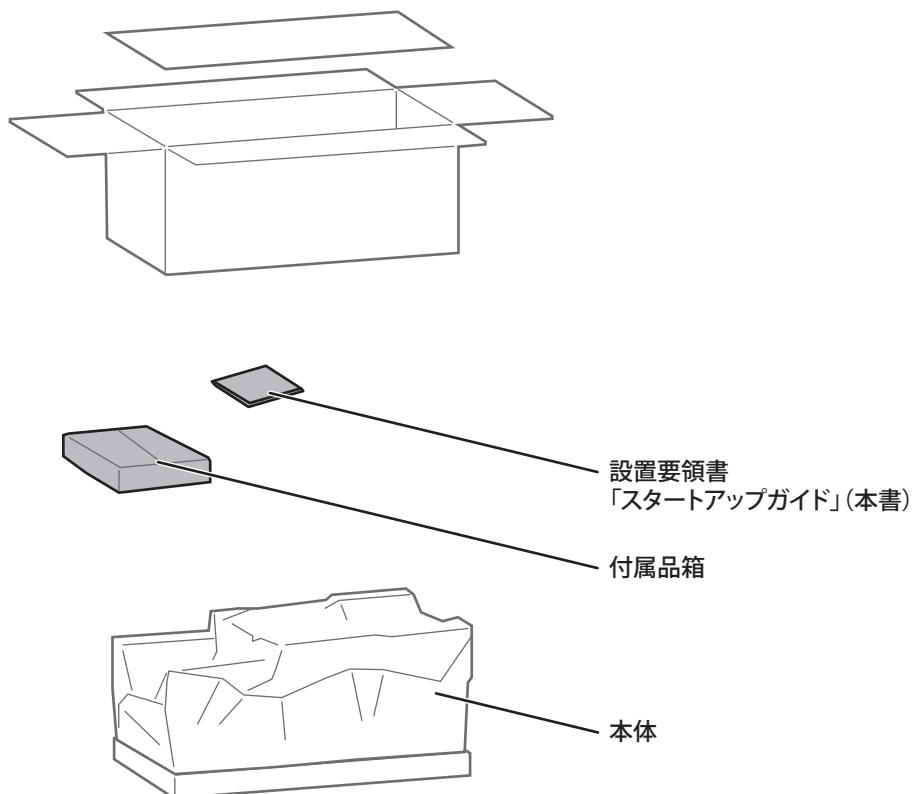
開梱

⚠ 注 意

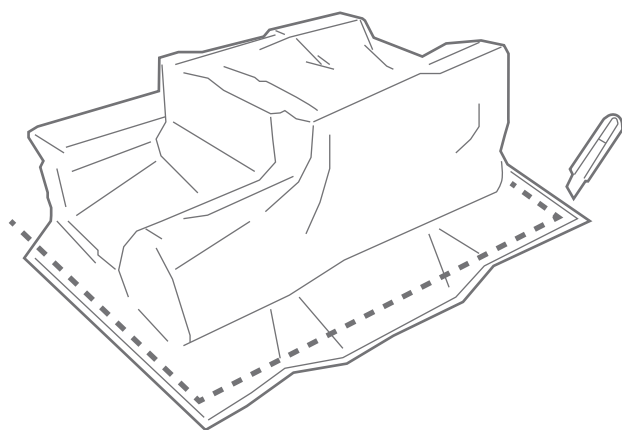
- 本製品を開梱または移動する場合は、必ず 4 人以上で作業してください。
- 本製品は水平の状態を保ったまま移動してください。

本体の開梱

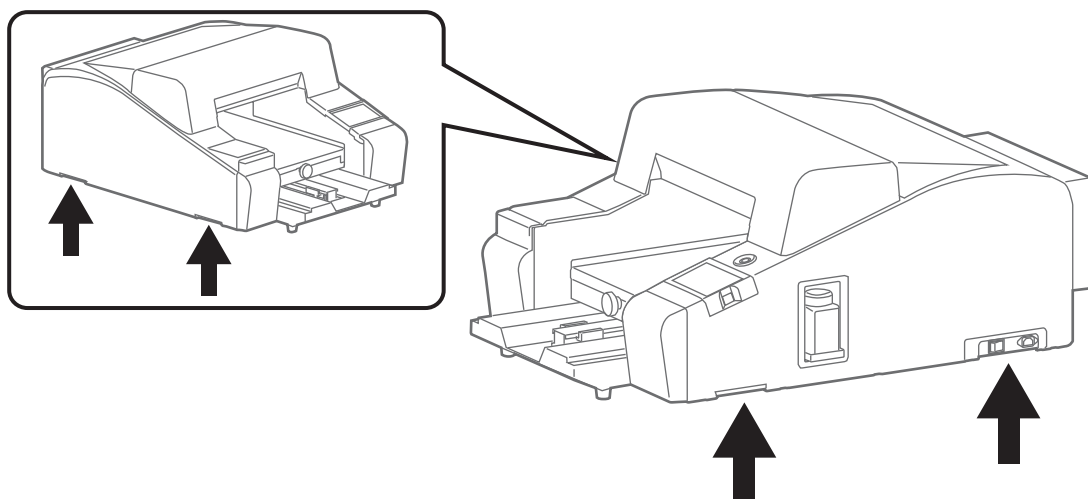
- [1] 梱包箱を開き、各部品を取り出します。



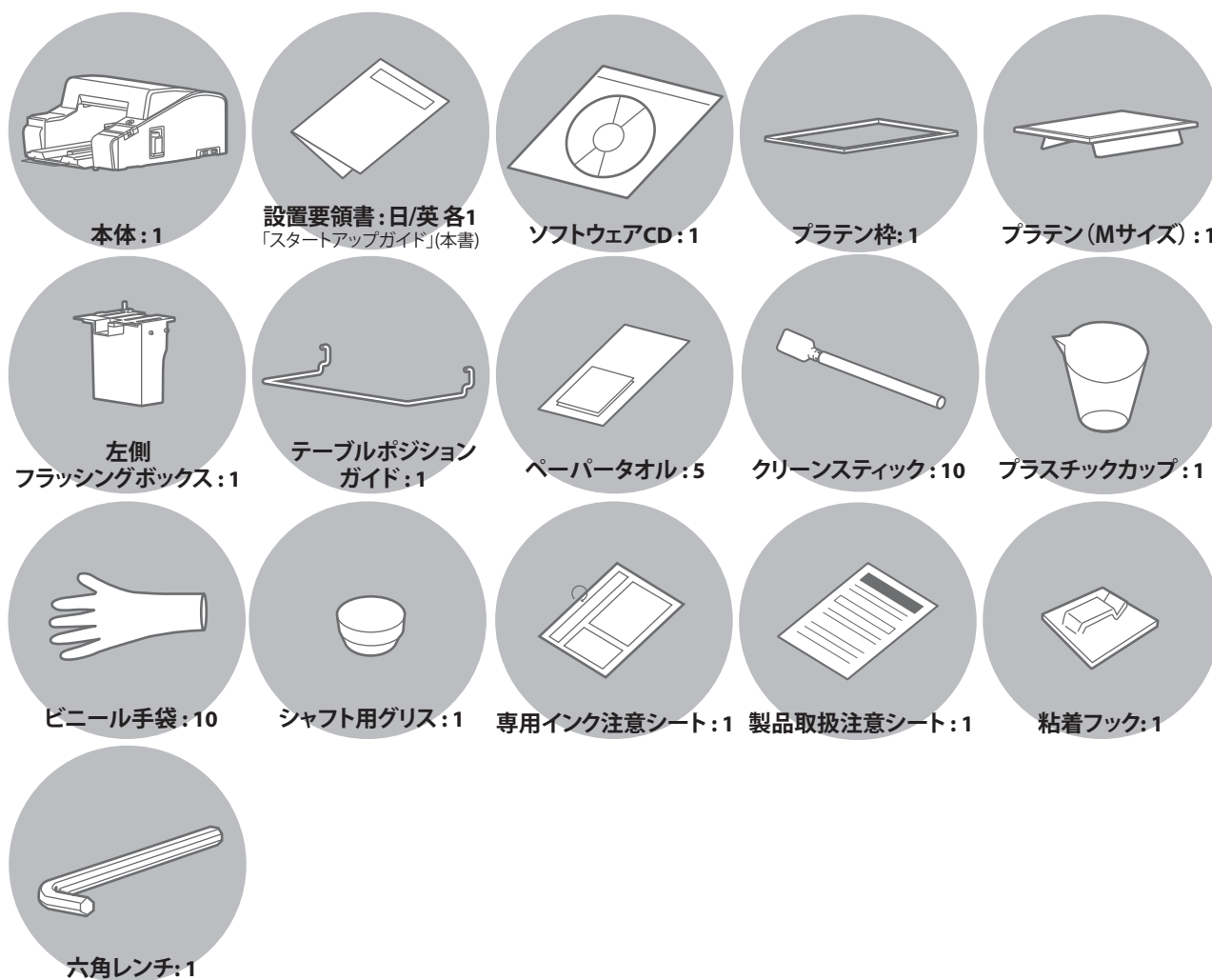
- [2] カッターでアルミ防湿袋を切り開き、緩衝材を取り外します。



- [3] プリンターを持ち上げるときは、矢印の位置に手をかけてください。
プリンターは4人で持ち上げてください。





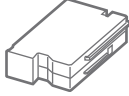
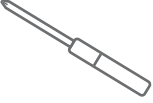


- [4] 同梱品がすべてそろっているか、確認します。

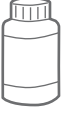




その他にご用意いただくもの






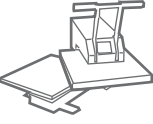
本製品は、同梱品以外に次のものがが必要です。

					
コンピューター ※ 1	イーサネットケーブル	テスト印刷用メディア ※ 2	電源ケーブル (オプション品)	インクカートリッジ VJ-404GT : 4本 VJ-405GT : 6本	プラスドライバー

設置と初期設定

		
メンテナンス液 (オプション品)	綿棒 (市販品)	エタノール (市販品) ※ 3

メンテナンス

					
Tシャツ (市販品) ※ 4	前処理液 (オプション品) ※ 5	純水 (市販品) 前処理液の希釈用	前処理キット (オプション品)	耐熱性と剥離性のある シート (市販品) ※ 6	ヒートプレス (市販品) ※ 7

Tシャツへの印刷

※ 1 : 以下のオペレーティングシステムのもの

Windows 10、Windows 8 / Windows 8.1、Windows 7、Windows Vista

※ 2 : A4 サイズ (210mm x 297mm) のもの

VJ-405GT の場合は、透明または半透明のメディア (OHP フィルム、トレーシングペーパーなど)

※ 3 : 濃度 50% 以上のもの

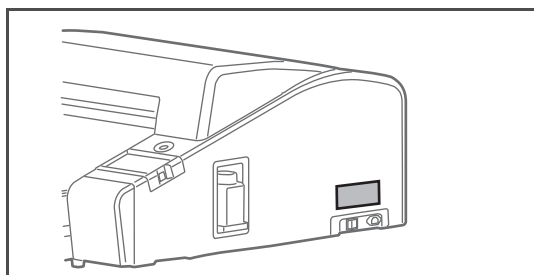
※ 4 : 綿 100% 素材 / 綿、ポリエステル混合素材 (綿 50% まで) / ポリエステル 100% 素材

※ 5 : ホワイトインク用とポリエステル用があります。

※ 6 : 180 °C 以上の耐熱性のある、シリコンペーパーやフッ素樹脂シート

※ 7 : 170 °C 以上を 60 秒間保持できるもの

Important!



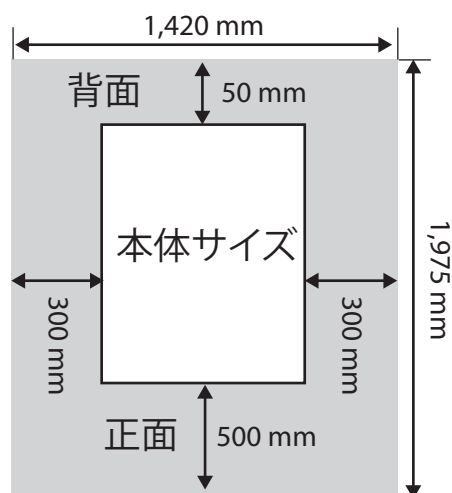
電源ケーブルが本体の電圧と合っているか、かならずご確認ください。

電圧が合わない電源ケーブルを使用すると故障の原因となります。

本体の対応電圧は電源コネクター上部の定格銘板に記載されています。

設置場所について

最小設置スペース



本体サイズ

幅 x 奥行 : 820 mm x 1,425 mm

高さ : 490 mm

設置場所の確認

本製品は、次のような場所に設置してください。

- ・ 水平な場所
- ・ 振動しない場所
- ・ 湿気やホコリの少ない場所
- ・ 直射日光や強い照明が当たらない場所
- ・ 温度・湿度の変化が小さい場所
- ・ 換気を行える場所
- ・ 風（冷暖房器具含む）が直接当たらない場所
- ・ 電磁波などのノイズが少ない場所



警告

本製品をテーブルなどに設置する場合は、フロントカバーを両手で持って開閉できる高さのものに設置してください。
また、フロントカバーを全開にするときに手が離れてしまう場合は、本製品をテーブルの手前に設置してください。
不安定な体勢でフロントカバーを開閉すると、手などを挟んだりして、重大な傷害につながる恐れがあります。

設置環境条件

本製品は、下表の条件を満たした場所に設置してください。

電源仕様	定格電圧	AC 100 - 120V
	電圧範囲	AC 90 - 132V
	入力周波数	50/60Hz ±1Hz
	容量	1.9 A
環境条件	動作環境	温度：20 °C～ 32 °C、湿度：40% ～ 60%（結露なきこと）
	作画精度保証範囲	温度：22 °C～ 30 °C、湿度：40% ～ 60%（結露なきこと）
	プリンター保存環境	インク未充てん保存：6ヶ月以内
		温度：-20 °C～ 50 °C、湿度：20% ～ 80%（結露なきこと）
		* ただし 50 °C環境下においては 5 日以内
		インク充てん保存：1 週間以内
	インク保存環境	温度：5 °C～ 30 °C、湿度：20% ～ 60%（結露なきこと）
		* スリープモードによる常時通電が必要
		Black/Cyan/Magenta/Yellow/White（各 200ml）
		・ 温度：5 °C～ 35 °C
	前処理液	・ 湿度：結露なきこと
	洗浄液	・ 温度：5 °C～ 35 °C
		・ 湿度：結露なきこと

ご使用上のお願い

フロントカバーの開閉について



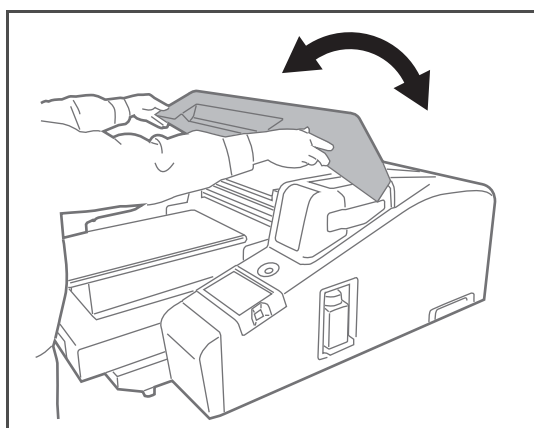
警告

フロントカバーの開閉は、不安定な体勢で行わないでください。
開閉時に手などを挟んだりして、重大な傷害につながる恐れがあります。



注意

- ・フロントカバーはかならず全開してください。
途中で止めると突然閉まる恐れがあります。
- ・フロントカバーを閉めるときは、かならず両手で指定位置を持って閉めてください。
プリンタ開口部のフチやその周辺に手を掛けていると、手を挟まれてケガをする恐れがあります。



図の位置を持ち、かならず両手を使ってゆっくりと開閉してください。

電源をオフにしないでください

本製品は、電源を常時オンにしてご使用ください。使わないときは電源をオフにせず、必ずスリープモードにしてください。スリープモードにすると、本製品は定期的に本体内部のインクを循環し、ヘッドクリーニングを自動で行います。スリープモードにしないと本体内部のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因となります。




Important!

本製品をご使用中、およびスリープモード中に電源ケーブルをコンセントから抜かないでください。
本製品の故障や破損の原因となる恐れがあります。

インクカートリッジをかくはんしてください

- ・インクカートリッジはプリンターにセットする前に、本書の手順に従ってかくはんしてください。
- ・セットした後も、ホワイトのインクカートリッジは定期的にかくはんする必要があります。毎日の作業前および操作パネルにメッセージが出たとき（12 時間に 1 度）に、専用インク注意シートまたは取扱説明書の手順に従ってインクカートリッジをかくはんしてください。
放置するとカートリッジ内部のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因となります。

定期的に使用してください

- ・ 本製品は 1 週間に 1 度は使用してください。長時間放置するとプリントヘッドのノズルが詰まり、故障の原因となります。
 - ・ 製品を長期間（1 週間以上）使わないときは、洗浄液を充てんして保存してください。
 - ・ 長期保存後にふたたびご使用になるときは、初期充てんを行ってください。
-  取扱説明書「輸送と長期保存」P.122

定期メンテナンスを実施してください

本製品は日常のメンテナンスが必要です。「日常のメンテナンス」シートまたは取扱説明書をよく読んでかたらず行ってください。

日常的にメンテナンスが行われないと、機械の寿命が短くなったり故障の原因となります。

	VJ-405GT	VJ-404GT
クリーニングワイパーとキャップ	毎日	1 週間に 1 度
プリントヘッド周辺	1 週間に 1 度	1 週間に 1 度
シャフトとエンコーダスケール	2 週間に 1 度	2 週間に 1 度
廃液ボトル	操作パネルにメッセージが出ましたら、空にしてください。	

Note

- ・ シャフトは清掃後、グリスアップしてください。
- ・ シャフトとエンコーダスケールのメンテナンスは、「プラテンギャップ」設定を「広い」で使用するときは、1 週間に 1 度行ってください。

定期的に交換が必要な部品があります

- ・ 交換が必要な部品

フラッシングボックス	操作パネルにメッセージが出たら交換してください。
ミストフィルター	2 か月ごと

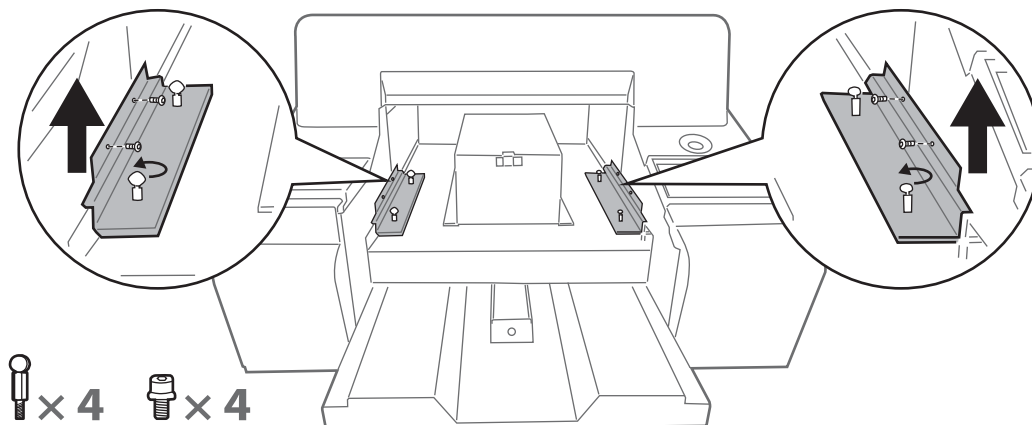
Note

- ・ 交換用のフラッシングボックスが 1 個付属しています。
- ・ 定期交換部品は、必要に応じてオプション品をご注文ください。
- ・ 定期交換部品は、使用環境や使用頻度により交換までの日数が変化する場合があります。

保護材の取り外し

手順

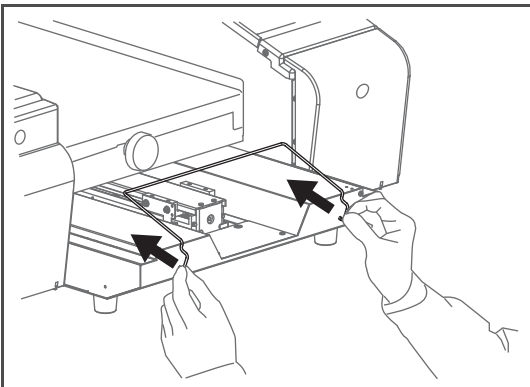
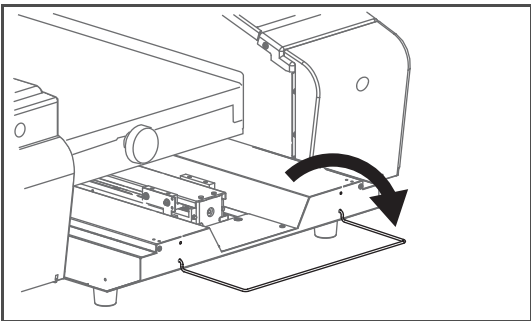
- [1] 本製品の外側に貼られている保護材やテープをすべてはがします。
- [2] カバーの隙間に貼られているテープをすべてはがします。
 - はがし終わったらカバーは閉じてください。
- [3] 輸送用ブラケットのネジ（各 4 本）を取り外し、輸送用ブラケット 2 個を取り外します。
 - 側面のネジ（M4、各 2 本）は付属の六角レンチで取り外してください。



組み立て

テーブルポジションガイドの取り付け

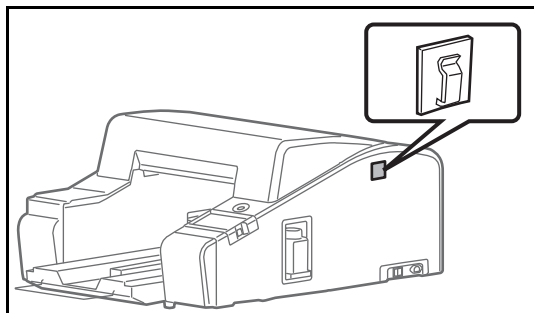
テーブルポジションガイドは、プリンターのテーブルが一番手前まで移動したときの位置を示すガイドです。プリンター動作中に不用意にテーブルに触れて動作が停止しないように、テーブルポジションガイドを取り付けてください。

- [1]  テーブルポジションガイドの両端を、ベースフロントの穴に差し込みます。
- [2]  前方に倒しながら、テーブルポジションガイドの両端を奥に差しこみます。

専用インク注意シートの取り付け

専用インク注意シートがすぐ見られるように、プリンターに取り付けてください。

[1]



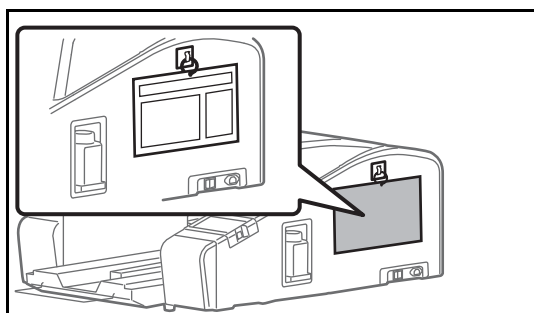
粘着フックを、左図の位置に貼り付けます。



Note

プリンターを正面から見て、右側のカバーの上部に貼り付けてください。

[2]



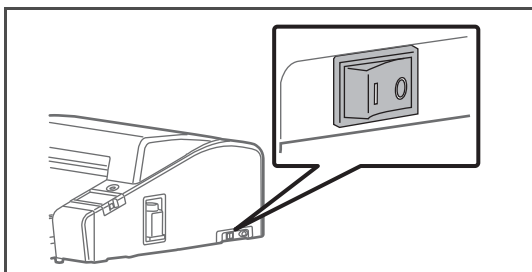
専用インク注意シートをフックに掛けます。

ケーブルの接続

電源ケーブルとイーサネットケーブルの接続

1. 電源ケーブルの接続

[1]



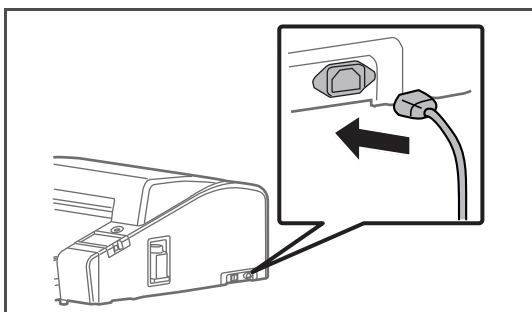
主電源スイッチがオフになっていることを確認します。



Note

主電源スイッチが「I」側に倒れているときは、オンになっています。
「O」側に倒して、オフにしてください

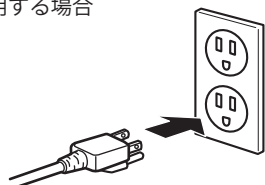
[2]



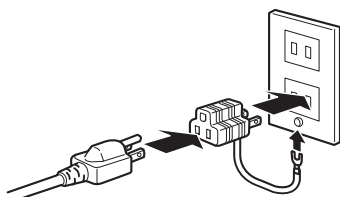
電源ケーブルを本製品に接続します。

[3]

3芯プラグを使用する場合



3芯2芯変換コネクタプラグを使用する場合



電源ケーブルのプラグをコンセントに正しく差し込みます。

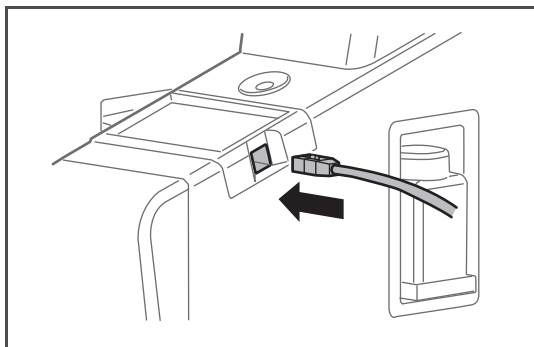


Important!

- 本体の対応電圧とコンセントの電圧が合っているか確認してください。
合わないコンセントに接続すると故障します。
本体の対応電圧は電源コネクタ上部の定格銘板に記載されています。
- 漏電事故防止のため、接地接続（アース）を行ってください。

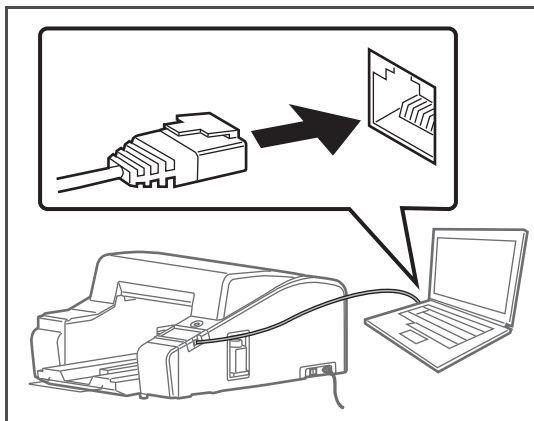
2. イーサネットケーブルの接続

[1]



イーサネットケーブルを本製品に接続します。

[2]



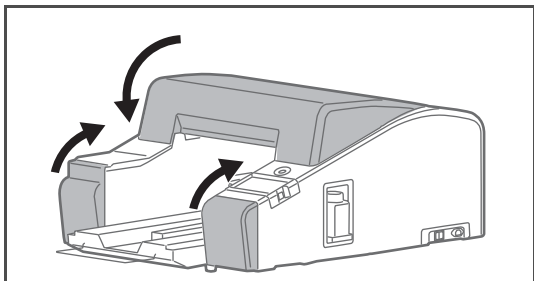
イーサネットケーブルを、コンピューターに接続します。

Important!

- 左図は本製品とコンピューターを1対1接続した例です。接続方法はご使用の環境により異なります。
- 本製品をLANで使用する場合は、接続先のコンピューターと同じサブネットになるようにしてください。

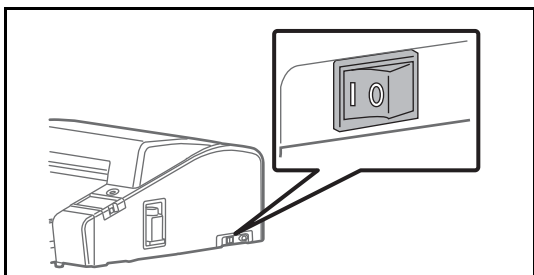
電源をオンする

[1]



カバーが閉じていることを確認します。

[2]

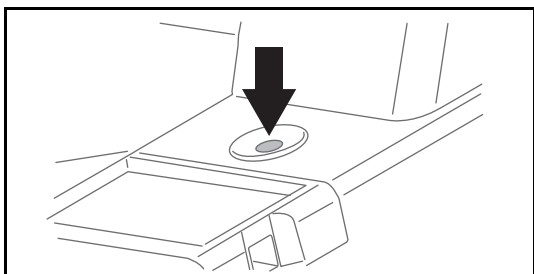


主電源スイッチをオンします。

Note

- ・主電源スイッチの I マークは、オンを意味します。
- ・主電源スイッチの O マークは、オフを意味します。


[3]



サブ電源ボタンを 1 秒以上押します。

- ・青色のランプが点灯します。
- ・本製品が初期動作を開始します。

Note

- ・初回起動時は、アクティベーションを開始します。本書「プリンターの初期設定」にしたがってアクティベーションを行ってください。
- ・サブ電源ボタンの  マークは、スタンバイ（待機）を意味します。本製品ではスタンバイとスリープモードは異なる状態です。

Important!

本製品は、主電源スイッチとサブ電源ボタンを常時オンにしてご使用ください。使わないときは電源をオフにせず、かならずスリープモードにしてください。

スリープモードにしないと本体内部のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因となります。

 「スリープモード」P.46

プリンターの初期設定

初期設定の流れ

アクティベーションを行う

本製品のアクティベーションを、タッチパネルで行います。

言語の設定

タッチパネルの表示言語を設定します。

インクカートリッジの取り付けと初期充てん

本製品にインクカートリッジを取り付け、プリントヘッドをインクで満たします。

テスト用メディアをセットする

ノズルチェックを印刷するメディアをセットします。

ノズルチェックとクリーニング

ノズルチェックを印刷し、ノズル抜けがなくなるまでヘッドクリーニングを行います。

ネットワークの設定

プリンターのIPアドレスを、タッチパネルで入力します。

ソフトウェアのインストール

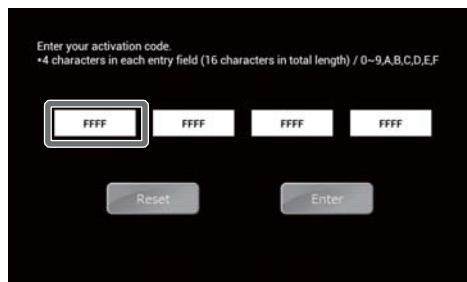
本製品で使用するソフトウェアを、コンピューターにインストールします。

セットアップ完了!

Step 1 アクティベーションを行う

本製品は、初回電源オン時にアクティベーションを行う必要があります。
アクティベーションコードは、販売店から E メールなどで入手してください。

[1]



左の画面が表示されたら、アクティベーションコードを入力します。

[FFFF] となっている入力欄の、左端の欄を押します。

- 数値入力画面を表示します。



Note

16 桁のアクティベーションコードを、4 桁ずつ区切って入力します。

[2]



アクティベーションコードをテンキーで入力します。

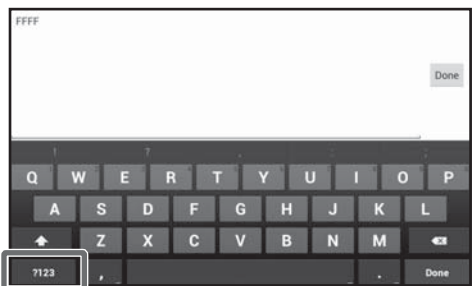
- 16 桁のコードの 4 桁目まで入力してください。

- [Done] で入力を確定します。



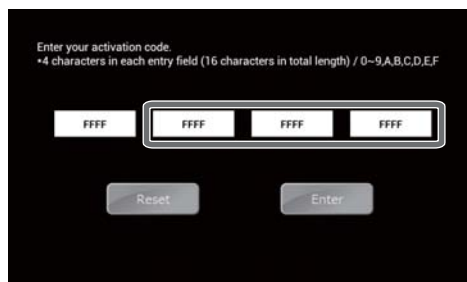
Note

タッチパネルはしっかりと押してください。感圧式のため、軽く触れるだけでは反応しないことがあります。



- 英字と数字の切り替えは左下のキーを押してください。

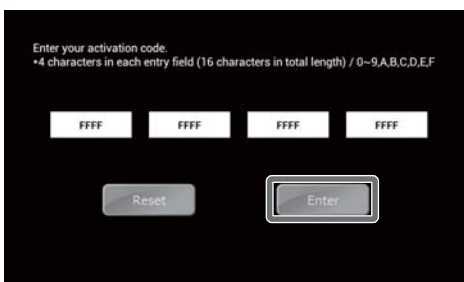
[3]



残りのすべての欄を同様に入力します。

アクティベーションコードを 16 桁目まで入力してください。

[4]



[Enter] を押します。

- 入力した設定値でプリンターのアクティベーションを行います。



Note

入力をすべてやり直すには [Reset] を押してください。



Important!

アクティベーションが終わるとテーブルがプリンター手前側に移動します。このときテーブルに触らないようにしてください。

Step 2 言語の設定

タッチパネルに表示される言語を変更します。最初の状態では英語表示になっています。

言語変更後も、各機能キーについては英語表示となります。

[1]



[SET UP] メニューを押します。

[2]



[Language] キーを押します。

- 言語の選択画面が表示されます。

[3]



使用する言語を押してから、[Change] を押します。

- 言語の設定が変更されます。



Note

[Cancel] キーで SET UP タブへ戻ります。

Step 3 インクカートリッジのセットと初期充てん

以下の手順でインクカートリッジをセットし、初期充てんを行ってください。

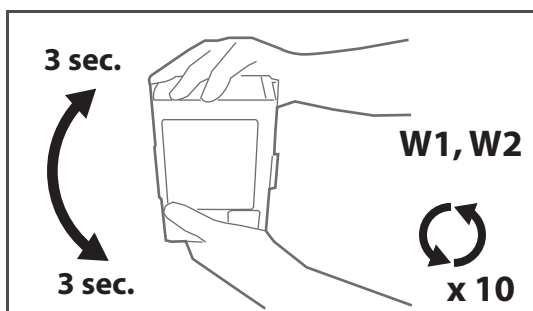
[1]



タッチパネルのプリンタステータスが以下のようにになっていることを確認します。

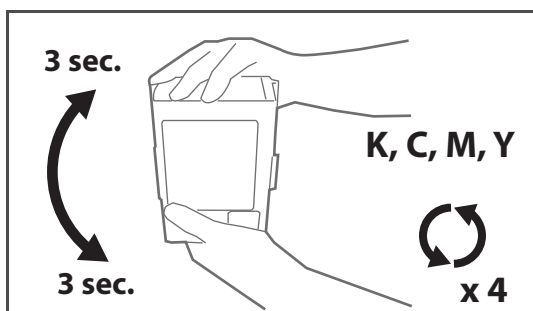
- ・「洗浄済み」
- ・「インクを充填してください」
- ・「カートリッジを挿入してください」

[2]



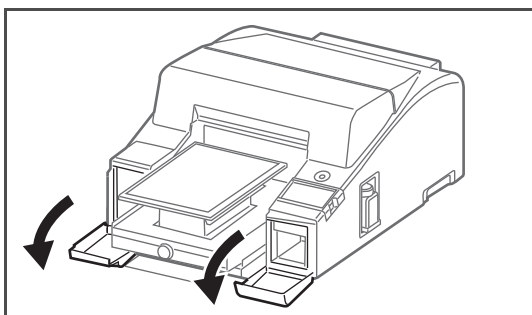
インクカートリッジは、開封後にならずかくはんしてください。

- ・ホワイトのインクカートリッジは、差し込み口を上に向けて3秒待ちます。
- ・次に、差し込み口を下に向けて3秒待ちます。
- ・10回繰り返します。



- ・それ以外のインクカートリッジは、差し込み口を上に向けて3秒待ちます。
- ・次に、差し込み口を下に向けて3秒待ちます。
- ・4回繰り返します。

[3]

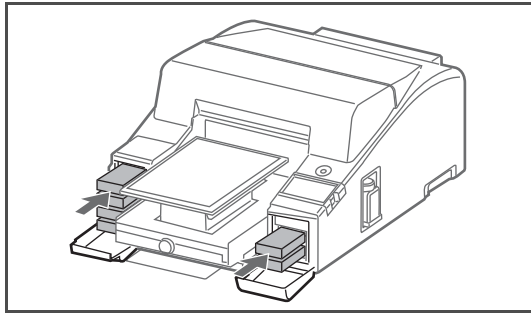


両側のカートリッジカバーを開きます。

 Note

カートリッジカバーは、押すと手前に開きます。

[4]



インクカートリッジをセットします。

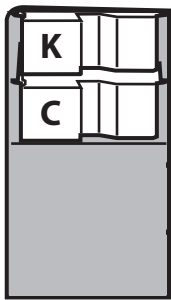
Note

- ・本製品のラベルとインクカートリッジの色を合わせてください。
- ・インクカートリッジは奥までしっかりと押し込んでください。

VJ-404GT

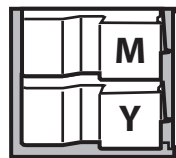
L

R



ブラック
(K)

シアン
(C)



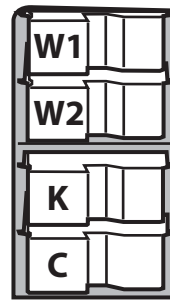
マゼンタ
(M)

イエロー
(Y)

VJ-405GT

L

R

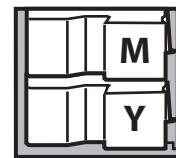


ホワイト 1
(W1)

ホワイト 2
(W2)

ブラック
(K)

シアン
(C)



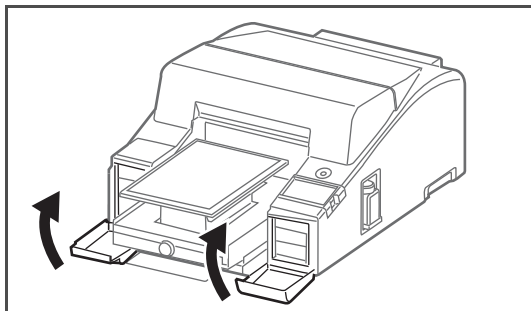
マゼンタ
(M)

イエロー
(Y)

Important!

インクカートリッジの W1 と W2 はカートリッジの形状が異なります。逆に取り付けようとすると故障の原因になります。

[5]



カートリッジカバーを閉じます。

- ・初期充てんを開始します。

Important!

初期充てん中は、以下のことはしないでください。

- ・電源をオフしたり、電源ケーブルを抜いたりしないでください。
- ・フロントカバーやカートリッジカバーを開かないでください。

Note

初期充てん後のクリーニング中に、「クリーニング失敗 再実行してください」が表示された場合は、強力クリーニングを行ってください。

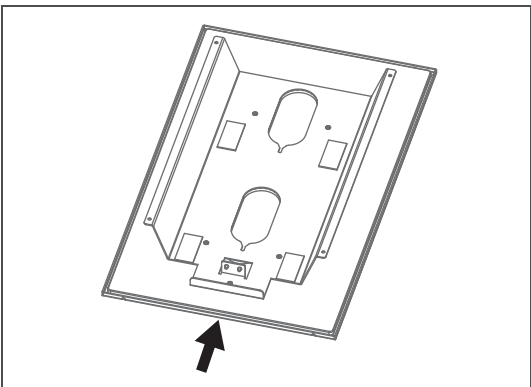
「[クリーニングの手順](#)」P.24

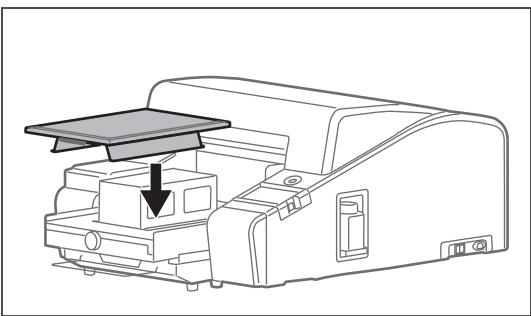
Step 4 テスト用メディアをセットする

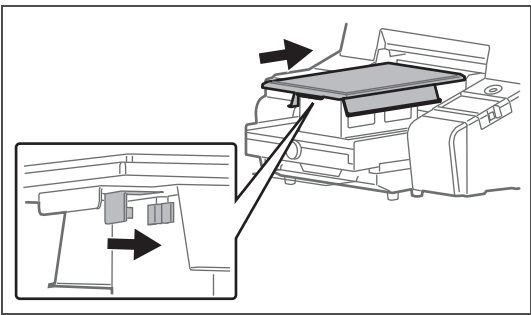
1. プラテンの取り付け

[1] 電源がオンになっていることを確認します。

[2]  テーブルが一番手前に移動していることを確認します。

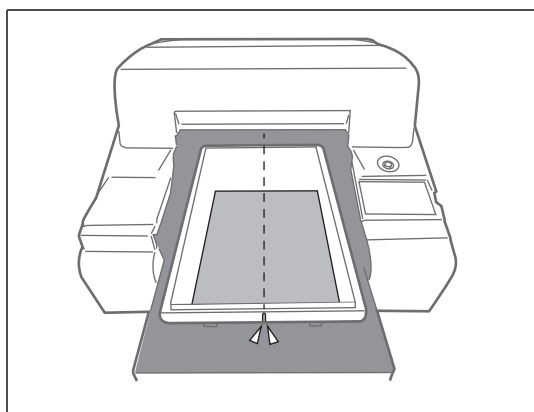
[3]  プラテンを裏返して、プラテンの手前側を確認します。
・矢印で示した側が、手前になります。

[4]  プラテンの裏表を元に戻して、プリンターのテーブルにプラテンをのせます。

[5]  奥に向かって、突き当たるまで押します。
・プラテン下部にあるラッチを、テーブル側のキャッチにはめてください。

2. メディアをプラテンに置く

[1]



プラテンにメディアを置きます。

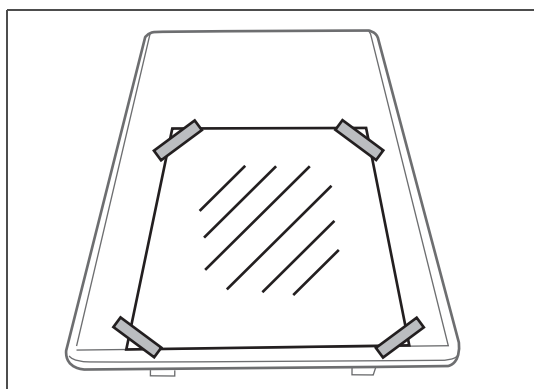
- A4 サイズ (210 mm x 297 mm) のメディアを縦にしてセットしてください。
- メディア前端がプラテン前端と一致するように配置します。
- メディアの中央がプラテンの中央と一致するように配置します。
- プラテン前端の中央部に溝がありますので、セット位置の目安にしてください。



Note

VJ-405GT はホワイトインクを使用しますので、透明または半透明のメディア (OHP フィルム、トレーシングペーパーなど) をおすすめします。

[2]



メディアの一部がプラテンから浮いている場合は、メディアの四隅をテープで固定してください。



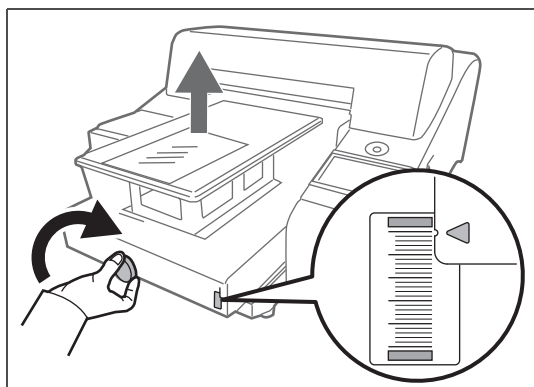
Note

メディアに浮いている部分があると、エラーの原因になります。

3. テーブル高さを調整する

適切なテーブルの高さにするには、一番上までプラテンを上げて障害物エラーを出し、エラーが出ない高さまで徐々に下げていく方法で行います。きれいに印刷するために、メディアとプリントヘッドの距離をできるだけ近づけてください。

[1]



テーブル昇降ダイヤルを回して、テーブルを一番上まで上げます。



Important!

- テーブルを一番上まで上げた後、さらにテーブル昇降ダイヤルを回し続けると破損するおそれがありますので、それ以上回さないでください。
- 一番下まで下げた場合も同様です。

[2]



[MAIN] メニューを押します。

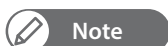
[3]



[SET] キーを押します。

- ・テーブルが印刷開始位置に移動します。
- ・障害物エラーへの対処は以下をご覧ください。

👉 「印刷前に障害物エラーが発生したとき」P.21



Note

タッチパネルはしっかりと押してください。感圧式のため、軽く触れるだけでは反応しないことがあります。

4. 印刷前に障害物エラーが発生したとき

テーブルの高さが高すぎたり、プラテン上に障害物があったり、メディアの一部が浮いていたりすると、障害物エラーになります。エラー検出中は、サブ電源ボタンが点滅します。

以下の手順でエラーの原因を取り除いてください。

[1]



[OK] を押します。

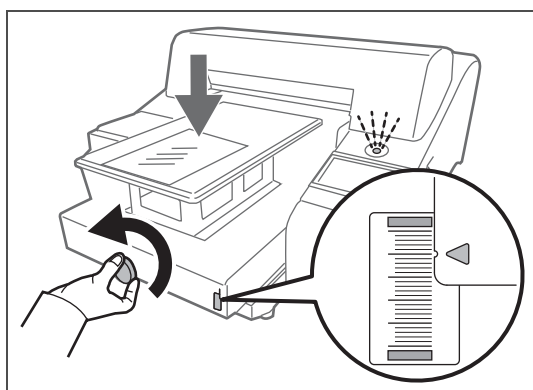
[2]

プラテン上に異物やメディアの浮きがあるかを目視で確認します。

- ・異物やメディアの浮きがない場合は、手順3へ進みます。
- ・異物やメディアの浮きがある場合は、以下をご覧ください。

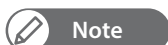
👉 「異物やメディアの浮きがある場合」P.22

[3]



異物やメディアの浮きがない場合は、テーブル昇降ダイヤルを回して、テーブルの高さを下げます。

- ・テーブルの右端の目盛りを見ながら、プリントヘッドとメディアの距離が開きすぎないように、少しずつ下げてください。
- ・サブ電源ボタンの点滅が止まるまで下げてください。



Note

- ・目盛りは1目盛り1mmです。
- ・プリントヘッドとメディアの距離が大きくなると、印刷品質が低下します。プリントヘッドとメディアの距離はギリギリまで近づけてください。

[4]



[SET] キーを押します。

- ・テーブルが印刷開始位置に移動します。

異物やメディアの浮きがある場合



障害物検出時は、装置が停止していることを十分に確認してから、障害物を取り除いてください。

[1]



[EJECT] キーを押します。

- ・テーブルがメディアセット位置に移動します。

[2]

プラテン上の異物を取り除きます。メディアの一部が浮いていれば、平らにします。

[3]



[SET] キーを押します。

- ・テーブルが印刷開始位置に移動します。



テーブルが印刷開始位置に移動した後は、テーブルの高さを絶対に上げないでください。
テーブルとプリントヘッドが接触して、プリントヘッドが破損するおそれがあります。

Step 5 ノズルチェックとクリーニング

ノズルチェックを行い、ノズル抜けがあるときは、クリーニングをしてください。

1. ノズルチェックの手順

- [1] ノズルチェックで使用するメディアをセットします。

👉 「メディアをプラテンに置く」P.20

[2]



[MAIN] メニューを押します。

[3]



[SET] キーを押します。

- ・テーブルが印刷位置に移動します。

[4]



[Nozzle Check] キーを押します。

- ・確認画面を表示します。

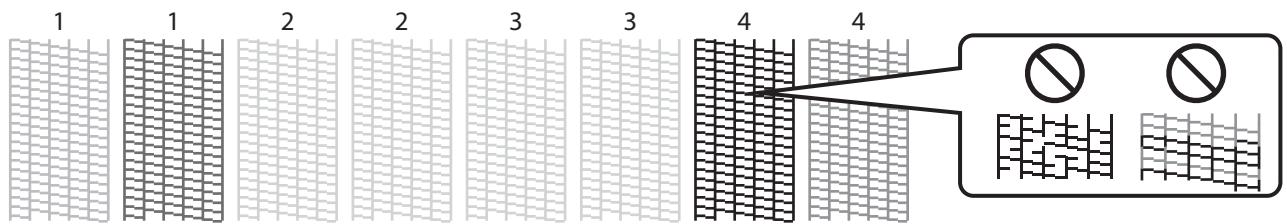
[5]



[Yes] を押します。

- ・ノズルチェックパターンを印刷します。

- [6] パターンを確認します。
- ・ノズル抜け（線が抜けている）があったり、線がかすれている場合は、「[クリーニングの手順](#)」P.24 に進みます。
正常に印刷できていないパターンの上の数字が、クリーニング対象となるプリントヘッドの番号です。
 - ・パターンが正常に印刷されている場合は「[Step 6 ネットワークの設定](#)」P.25 に進みます。



2. クリーニングの手順

[1]



[MAIN] メニューを押します。

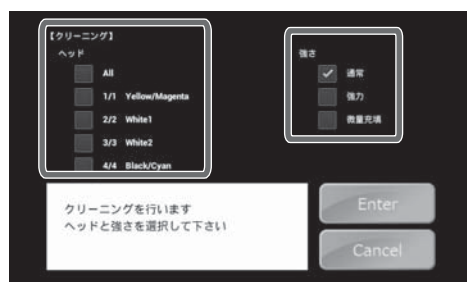
[2]



[Cleaning] キーを押します。

- ・クリーニングヘッド選択画面を表示します。

[3]



- ・クリーニングしたいプリントヘッドにチェックを入れてください。
- ・クリーニングの強さを [通常] [強力] [微量充てん] から選択できます。
- ・インク充てん後、初回のクリーニングはプリントヘッドの選択を [ALL] にして、クリーニングの強さは [強力] を選択してください。

Note

- ・プリントヘッドの番号は、ノズルチェックパターンに印刷されている番号と対応しています。
- ・[微量充てん] は [強力] よりさらに強いクリーニングです。
- ・左図の画面は VJ-405GT のものです。



クリーニングに 10 分以上かかる場合は、メッセージが表示されます。

- 時間を確認し、クリーニングする場合は [[はい]] を押します。

[4]



[Enter] を押します。

- クリーニングを開始します。

[5]

もう一度、ノズルチェックを行います。

- ノズル抜けや線のかすれがなくなるまでクリーニングとノズルチェックを繰り返してください。

👉 「ノズルチェックの手順」P.23

Step 6 ネットワークの設定

[1]



[SET UP] メニューを押します。

[2]



[IP Address] キーを押します。

- アドレス設定画面を表示します。

[3]



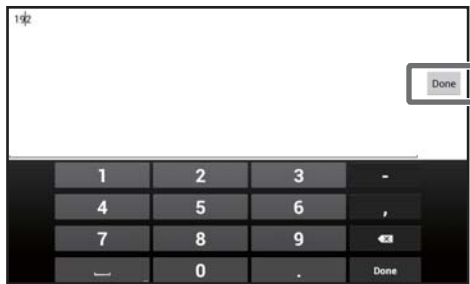
IP アドレスを設定します。

- 変更したいセグメント (数字) を押します。
- 数値入力画面を表示します。

Note

- IP アドレスは、このプリンターと接続するコンピューターの IP アドレスとは別の番号を設定します。
- IP アドレスの設定は、ネットワーク管理者にご相談ください。

[4]

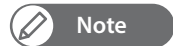


- テンキーで数字を入力します。
- [Done] で入力を確定します。

[5]



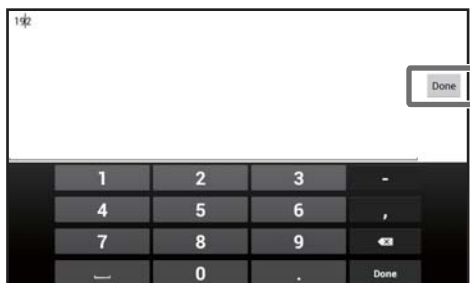
- サブネットを設定します。
- 変更したいセグメント（数字）を押します。
 - 数値入力画面を表示します。



Note

サブネットマスクの設定は、ネットワーク管理者にご相談ください。

[6]



- テンキーで数字を入力します。
- [Done] で入力を確定します。

[7]



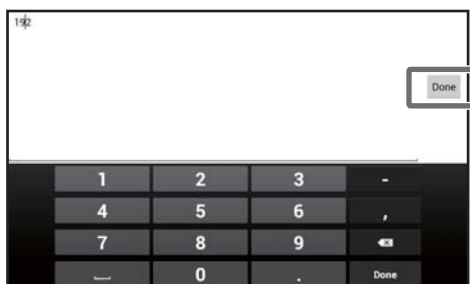
- ゲートウェイを設定します。
- 変更したいセグメント（数字）を押します。
 - 数値入力画面を表示します。



Note

- コンピューターと1対1接続する場合はデフォルト値のままでかまいません。
- ゲートウェイの設定は、ネットワーク管理者にご相談ください。

[8]



- テンキーで数字を入力します。
- [Done] で入力を確定します。

[9]



- [Change] キーを押します。
- 入力した設定値でプリンターのアドレス設定を更新します。



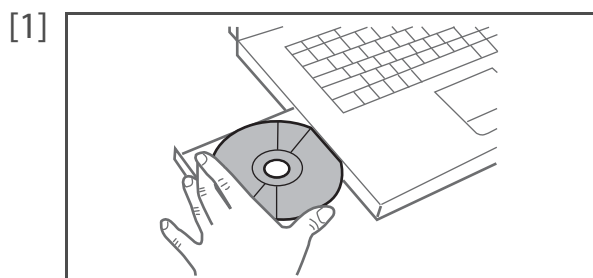
Note

アドレス設定画面を閉じるには [Cancel] を押してください。

Step 7 ソフトウェアのインストール

付属の CD には以下のソフトウェアやデータが入っています。

Layout and Print Tool	T シャツにデータを配置し、印刷するのに使います。
プリンタードライバー	コンピューターから本製品に印刷データを送るために必要です。 印刷設定を変更するときなどにも使います。
マニュアル	次のマニュアルが PDF 形式で入っています。 <ul style="list-style-type: none">• VJ-404GT/405GT スタートアップガイド（本書）• VJ-404GT/405GT 取扱説明書• Layout and Print Tool 取扱説明書• Platen Edit Tool 取扱説明書• VJ-405GT ホワイトプリントガイド



付属の CD をコンピューターの CD/DVD ドライブにセットします。

- 統合インストーラーが自動的に起動します。
- 自動的に起動しない場合は、CD/DVD ドライブのアイコンを右クリックして開き、VjTotalInst.exe をダブルクリックしてください。



〔メインメニューへ〕をクリックします。



各ソフトウェアをインストールしてください。

- 初期設定は以上で完了です。

Note

- CD-ROM は、再セットアップ時に必要になりますので大切に保管してください。
- ここで終了するときは、電源はオフにせずスリープモードにしてください。

👉 「スリープモード」P.46

Tシャツに印刷する

この項目は、取扱説明書の同名の項目から一部を抜粋したものです。本書は最小限の情報に限り掲載しておりますので、後で取扱説明書も必ずお読みください。

Tシャツへの印刷に必要なもの

Tシャツへ印刷するには、以下のものがが必要です。

ヒートプレス（市販品）

生地シワを除去したり、前処理液やインクを生地に着色するために使用します。プレス面が使用するプラテンよりも大きいこと、170℃以上を60秒間保持できることが必要です。

耐熱性と剥離性のあるシート（市販品）

ヒートプレスとTシャツの間に挟んで使用します。180℃以上の耐熱性のある、シリコンペーパーやフッ素樹脂シートをご使用ください。

Tシャツ

Tシャツの素材は以下のものをお勧めします。

- 綿 100% ～ 50%
- ポリエステル 100%



Note

- ポリエステル 100% 素材にはホワイトインクをご使用いただけません。
- メディアの素材によってはインクの裏移り、インクの滲みが発生する場合があります。

前処理液（オプション品）

前処理液にはホワイトインク用とポリエステル用があります。

- ホワイトインクを使用するときは、ホワイトインク用前処理液を使用しないとインクが発色しません。
- 淡色ポリエステルの生地で混紡率が高いときは、ポリエステル用前処理液を使用するとにじみが抑えられます。

前処理キット（オプション品または市販品）

硬質ローラー、前処理用ローラー、トレイが含まれています。

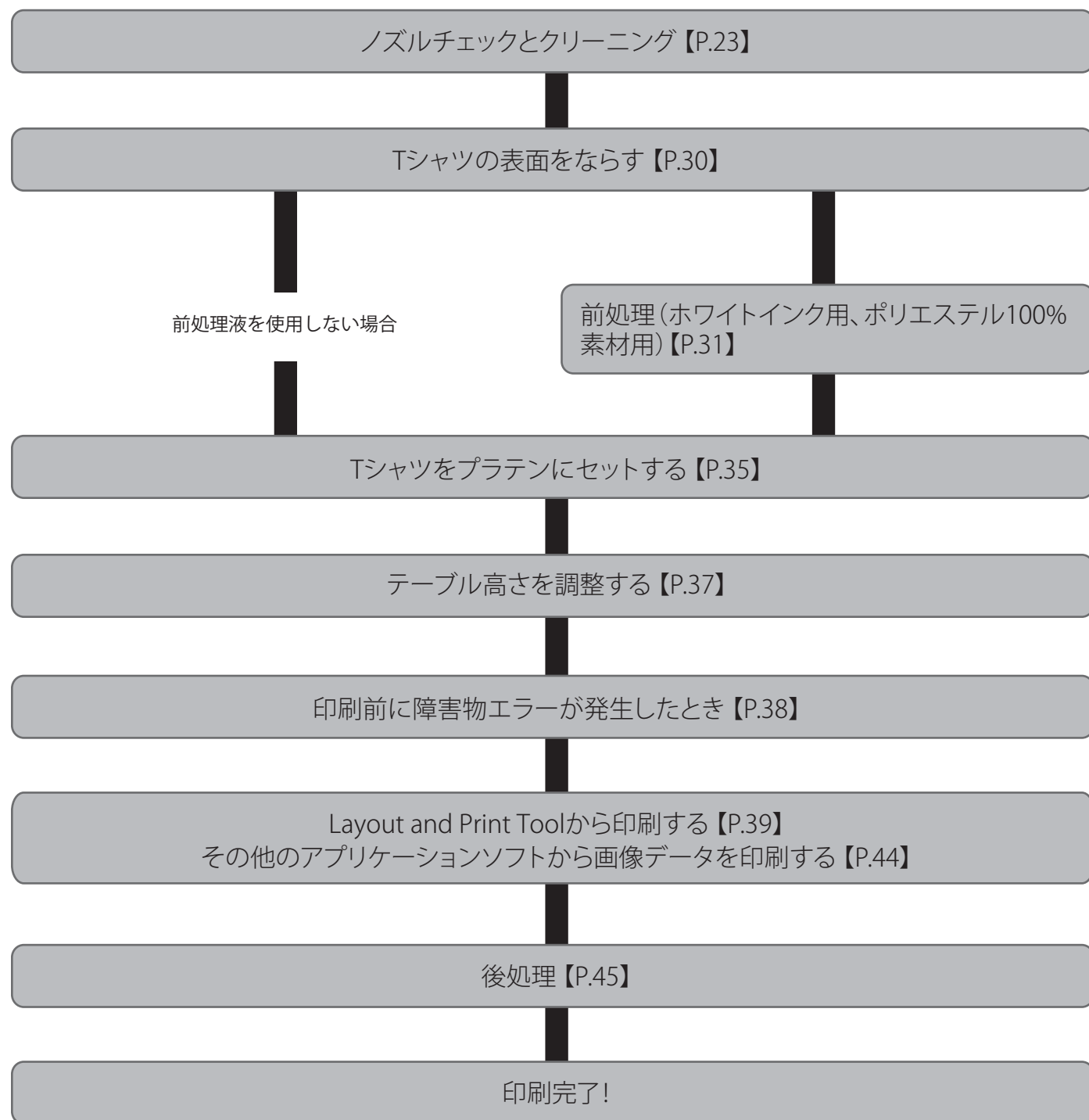
- 硬質ローラーは、Tシャツの毛羽立ちをならすために使用します。
- 前処理用ローラーは、前処理液をTシャツに塗るのに使用します。
- トレイは、希釈した前処理液に前処理用ローラーを浸すために使用します。

純水（市販品）

前処理液の希釈には純水（精製水）のご使用をおすすめします。

Tシャツ印刷の流れ

Tシャツ印刷の大まかな流れは、以下のとおりです。

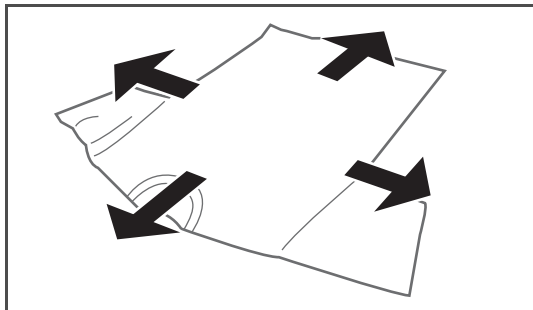


Tシャツの表面をならす

1. Tシャツの表面をならす

すべてのインクや生地で共通の方法です。まずこの手順を行ってください。

[1]



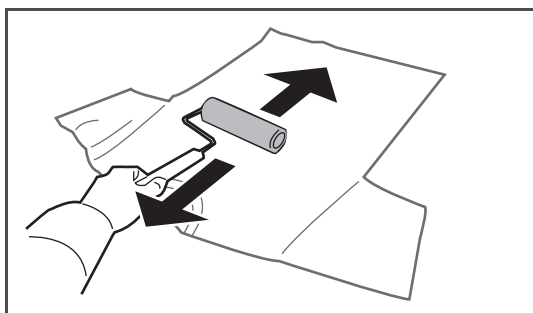
- Tシャツを平らな面に広げます。
- 手でシワをのばします。



Note

表面にごみがついているときは、取り除いてください。

[2]



硬質ローラーで毛羽立ちを平らにならしめます。

- ホワイトインクおよびポリエステル素材不使用時は、「[Tシャツ（メディア）をプラテンにセットする](#)」P.35に進んでください。
- ホワイトインクおよびポリエステル素材使用時は、「[前処理液の希釈](#)」P.33に進んでください。

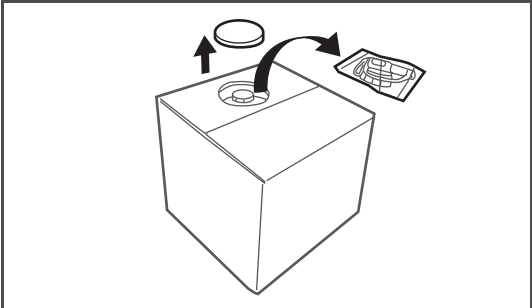
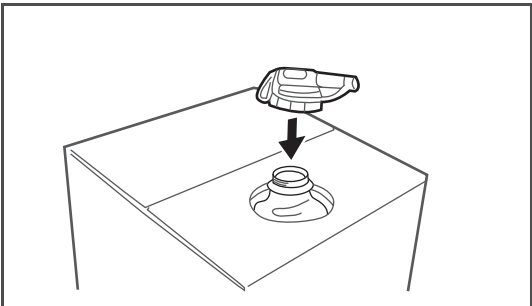
前処理（ホワイトインク用、ポリエステル 100% 素材用）

ホワイトインクで印刷するときは、ホワイトインク用前処理液を使用してください。
淡色ポリエステル 100% 素材に印刷するときは、ポリエステル用前処理液を使用してください。

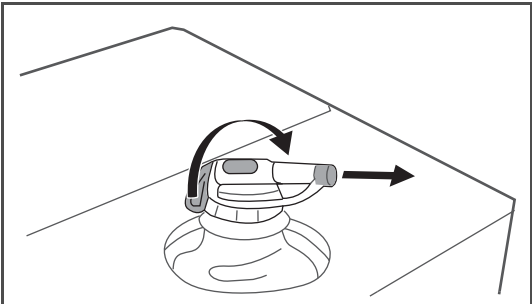
- ・ ホワイトインク用前処理液は、希釈前に必ず振ってください。
- ・ 前処理液は、塗布前に希釈してください。

1. 組み立て

コックの付け方（10 リットル容器タイプ）

- [1]  前処理液の梱包箱をミシン目に沿って切り取り、コックを取り出します。
- [2]  コックを取り付けます。

注ぎ方（10 リットル容器タイプ）

-  コックのキャップを取り外し、穴が下になるようにレバーを動かします。

2. ホワイトインク用前処理液を振る

ホワイトインク用前処理液を振る（10 リットル容器タイプ）

[1] コックが閉まっていることを確認します。

[2]  左右に 30 秒間振ります。

[3]  容器の向きを変えます。

[4]  さらに 30 秒間振ります。

ホワイトインク用前処理液を振る（1 リットル容器タイプ）

[1] キャップが閉まっていることを確認します。

[2]  水平に大きく回すように、1 分間振ります。

3. 前処理液の希釈

ホワイトインク用前処理液

ホワイトインク用前処理液は、1.5 倍～2 倍に希釈してご使用ください。
塗布量の目安は、A4 サイズあたり 7 g ～ 12 g（希釈後重量）です。

- ・ 希釈量の例）ホワイトインク用前処理液 100 g に対して、水は 50 g ～ 100 g の割合になります。

ポリエステル用前処理液

ポリエステル用前処理液は、20 倍に希釈してご使用ください。
塗布量の目安は、A4 サイズあたり 5 g ～ 10 g（希釈後重量）です。

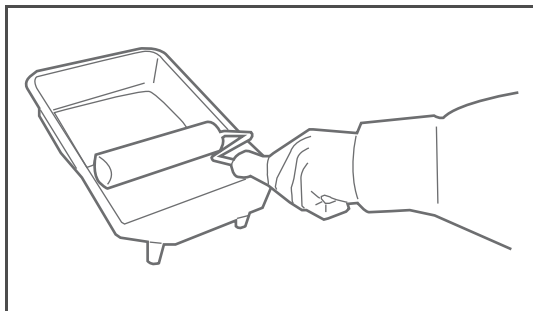
- ・ 希釈量の例）ポリエステル用前処理液 100 g に対して、水は 1,900 g の割合になります。

4. 前処理液の塗布

[1] Tシャツの表面をならします。

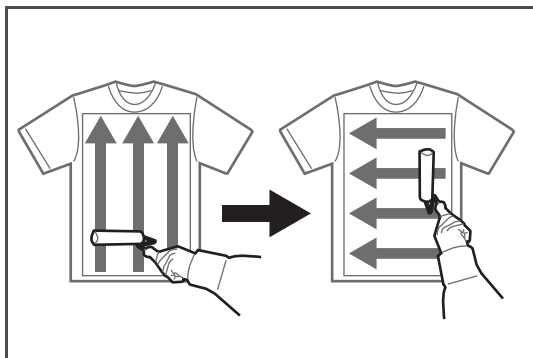
 「Tシャツの表面をならす」P.30

[2]



希釈した前処理液をトレイに注ぎ、前処理用ローラーをひたします。

[3]



Tシャツに前処理用ローラーで前処理液を塗布します。

- ・タテ方向にまんべんなく塗ってから、ヨコ方向にもまんべんなく重ね塗りしてください。

Note

- ・印刷する面よりも広めに塗ることをおすすめします。
- ・前処理液の塗りすぎにご注意ください。
印刷ムラになりにくく、正常な印刷結果が得られますが、洗濯後にヒビ割れや剥がれが発生する可能性があります。

[4] ヒートプレスで前処理液を定着させます。

ヒートプレスの使用について

ヒートプレスは市販品をご用意ください。Tシャツのシワの解消や、前処理液の定着、インクの定着に使用します。

ヒートプレスを使用するときは、シリコンペーパーなどの耐熱性（180℃以上）と剥離性のあるシートを、Tシャツとプレス面の間に挟んでください。

インクの定着条件（ヒートプレス）

温度	時間	圧力
170℃	60 秒間	3N/cm ² (300gf/cm ²) 以上

Note

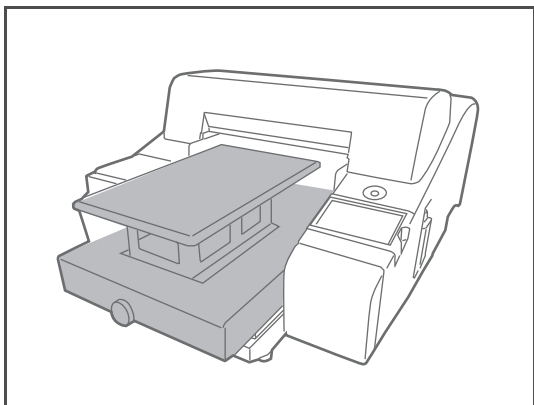
- ・ヒートプレスや生地によって最適条件が変化するため、上記条件は目安としてください。
- ・ヒートプレスを行うときに、蒸気が発生します。
発生した蒸気を吸い込まないように注意してください。
- ・定着が不十分だと洗濯により色落ちが発生する恐れがあります。
- ・ヒートプレスをかけると前処理液の跡が残りますが、洗濯するとなくなります。

1. Tシャツ（メディア）をプラテンにセットする

S サイズと M サイズのプラテンの場合を説明します。

L サイズのプラテン（オプション品）の場合は、取扱説明書をご覧ください。

[1]



テーブルが一番手前に移動していることを確認します。



テーブルが奥にある場合は、[MAIN] キーを押します。

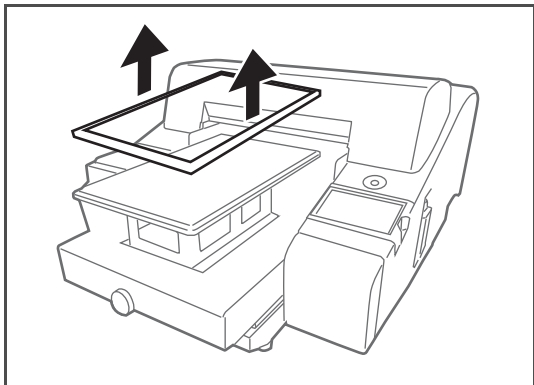
- [MAIN] タブが表示されます。



[EJECT] キーを押します。

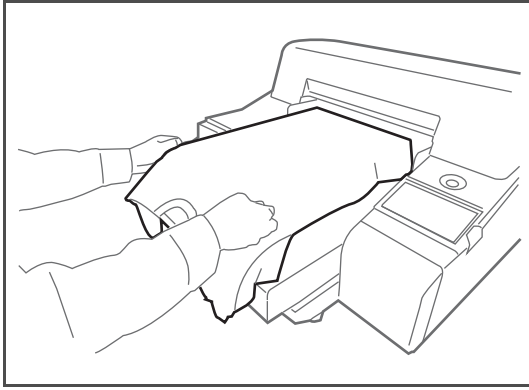
- テーブルがメディアセット位置に移動します。

[2]



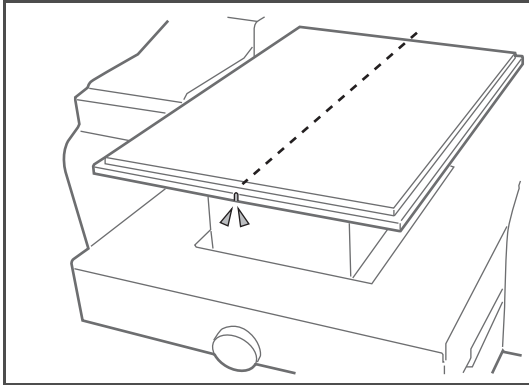
プラテンの枠を取り外します。

[3]



襟側を手前にして、プラテンにTシャツを置きます。

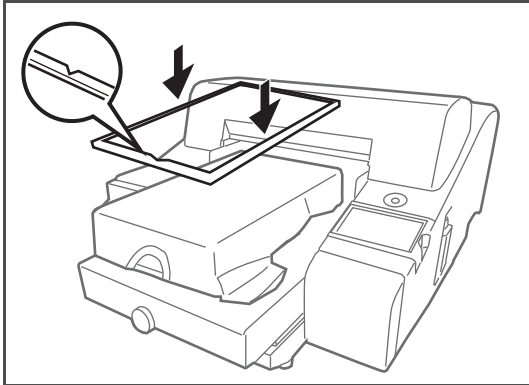
- Tシャツにシワがあれば硬質ローラーなどで軽く伸ばしてください。



- プラテン前端に、中央位置を示すミゾがあります。

ミゾを目安にして、Tシャツの中央とプラテンの中央を合わせてください。

[4]



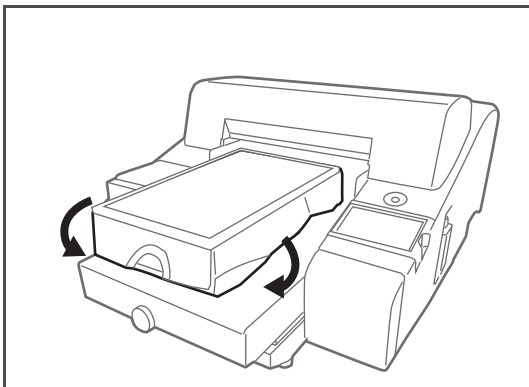
枠をはめます。

- Tシャツに浮きがある場合は、軽く伸ばしてください。

 Note

- Tシャツを引っ張りすぎると枠を外した時に縮み、印刷結果がつぶれる事がありますので注意してください。
- 枠の中央にあるV字の切り欠きは、プラテンの中央位置を示しています。切り欠きとTシャツの中央がずれている場合は、Tシャツの位置を調整してください。

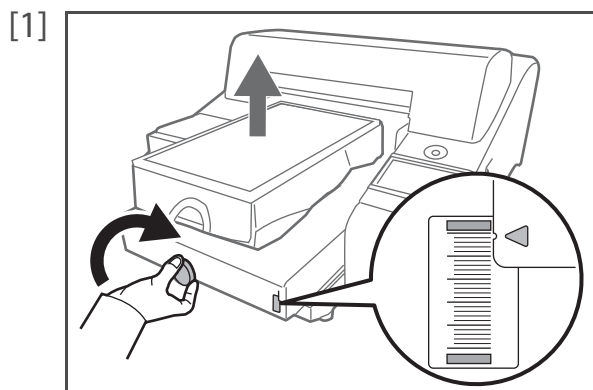
[5]



プラテンからはみ出た部分は、折り込んでテーブルからはみ出さないようにします。

2. テーブル高さを調整する

適切なテーブルの高さにするには、一番上までプラテンを上げて障害物エラーを出し、エラーが出ない高さまで徐々に下げていく方法で行います。きれいに印刷するために、メディアとプリントヘッドの距離をできるだけ近づけてください。



テーブル昇降ダイヤルを回して、テーブルを一番上まで上げます。

Important!

- テーブルを一番上まで上げた後、さらにテーブル昇降ダイヤルを回し続けると破損するおそれがありますので、それ以上回さないでください。
- 一番下まで下げた場合も同様です。



[MAIN] タブが表示されていない場合は、[MAIN] キーを押します。

- [MAIN] タブが表示されます。



[SET] キーを押します。

- テーブルが印刷開始位置に移動します。
- 障害物エラーへの対処は以下をご覧ください。

👉 [「印刷前に障害物エラーが発生したとき」P.38](#)

3. 印刷前に障害物エラーが発生したとき

テーブルの高さが高すぎたり、プラテン上に障害物があったり、メディアの一部が浮いていたりすると、障害物エラーになります。エラー検出中は、サブ電源ボタンが点滅します。

以下の手順でエラーの原因を取り除いてください。

[1]



[OK] を押します。

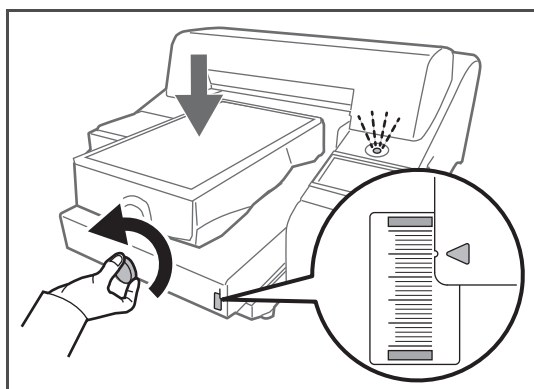
[2]

プラテン上に異物やメディアの浮きがあるかを目視で確認します。

- ・異物やメディアの浮きがない場合は、手順3へ進みます。
- ・異物やメディアの浮きがある場合は、以下をご覧ください。

 「異物やメディアの浮きがある場合」P.22

[3]



異物やメディアの浮きがない場合は、テーブル昇降ダイヤルを回して、テーブルの高さを下げます。

- ・テーブルの右端の目盛りを見ながら、プリントヘッドとメディアの距離が開きすぎないように、少しずつ下げてください。
- ・サブ電源ボタンの点滅が止まるまで下げてください。

Note

- ・目盛りは1目盛り1mmです。
- ・プリントヘッドとメディアの距離が大きくなると、印刷品質が低下します。プリントヘッドとメディアの距離はギリギリまで近づけてください。

[4]



[SET] キーを押します。

- ・テーブルが印刷開始位置に移動します。

4. Layout and Print Tool から画像を印刷する

付属 CD からインストールした Layout and Print Tool で、画像を配置し印刷することができます。
ここでは基本的な印刷方法のみ説明します。詳しい使い方は Layout and Print Tool の取扱説明書をご覧ください。

Layout and Print Tool で使用できる画像フォーマットは以下の通りです。

- PNG (.png)
- ビットマップ (.bmp)
- JPEG (.jpg)
- TIFF (.tif)

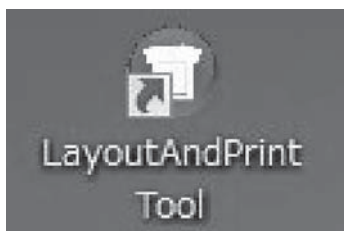


Note

一部の TIFF フォーマットには対応していません。

Layout and Print Tool の起動方法

[1]



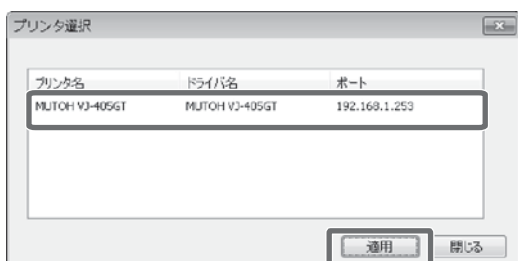
Windows 8 / Windows 8.1

[スタート] 画面で、[デスクトップ] をクリックします。
デスクトップの Layout And Print Tool アイコンをダブルクリックします。

Windows 10 / 7 / Vista

デスクトップの Layout And Print Tool アイコンをダブルクリックします。

[2]



初回起動時は、プリンタードライバーの選択画面が開きます。

- プリンタードライバーをクリックして選択し、[適用] をクリックします。
- プリンタードライバーの設定を一度も実行していない場合のみ、手順 3 の確認画面が表示されます。

[3]



確認画面で [OK] をクリックします。

- プリンターのプロパティ画面が開きます。

[4]

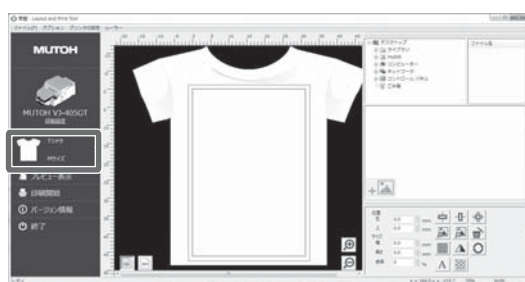


[OK] をクリックします。

- Layout and Print Tool が開きます。

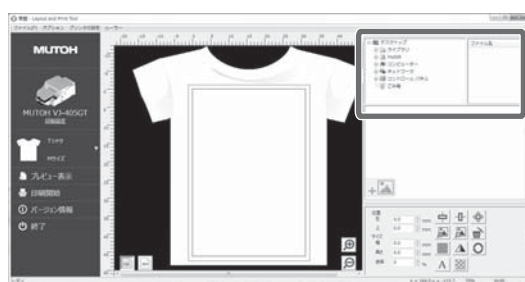
カラー（CMYK）印刷の場合

[1]



印刷に使用するプラテンのサイズを選択します。

[2]



印刷に使用する画像を選択します。

[3]



ボタンをクリックして、画像をTシャツに貼り付けます。

[4]



画像の位置を調整します。調整には以下の方法があります。

- マウスで任意の位置に移動する。
- 配置ボタン（左図 A）をクリックする。
- 数値を直接入力する（左図 B）

[5]



「印刷設定」をクリックします。

[6]



作画モードを選び、「適用」をクリックします。

- はい：印刷速度を優先するモードです。(600 x 600 dpi)
- きれい：基準となるモードです。(600 x 1,200 dpi)
- 高精細：画質を優先するモードです。(1,200 x 1,200 dpi)

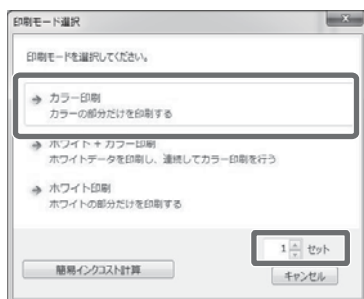
[7]



「印刷開始」ボタンをクリックします。

- 印刷モード選択画面を表示します。

[8]



セット数を入力し、「カラー印刷」ボタンをクリックします。

- 印刷を開始します。

Note

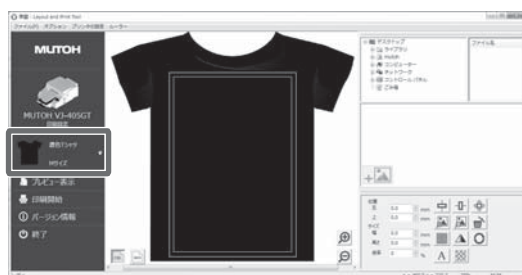
- 印刷中にメディアの膨張によって障害物エラーが発生した場合は、以下をご覧ください。
[「印刷中に障害物エラーが発生したとき」P.44](#)
- 印刷後は、かならず後処理を行ってください。
[「後処理」P.45](#)
- 印刷中のデータのファイル名を、プリンターのタッチパネルに表示します。

Important!

印刷中、クリーニング中にカートリッジカバーを開閉しないでください。
 正しくインク残量のカウントがされない場合や、インク残量が 0 となる場合があります。

ホワイト印刷の場合

[1]



濃色Tシャツを使用する場合は、印刷に使用するプラテンのサイズを選択するときに「濃色Tシャツ」を選択します。

[2]



- ・「ホワイト+カラー印刷」を行う場合は、カラー印刷の場合と同様に、画像を選択し配置します。
- ・「ホワイト印刷」を行う場合は、画像を配置せずに手順3へ進みます。

[3]



- 「ホワイト印刷データ表示」ボタンをクリックします。
- ・ホワイト印刷の編集画面を表示します。

[4]

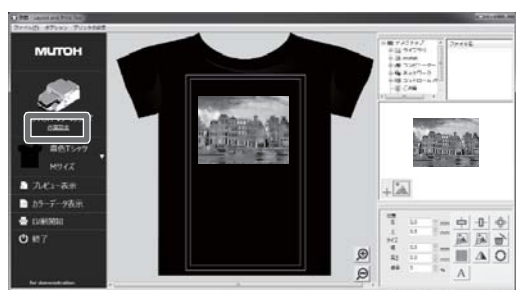


カラー印刷の場合と同様に、画像を選択し配置します。

Note

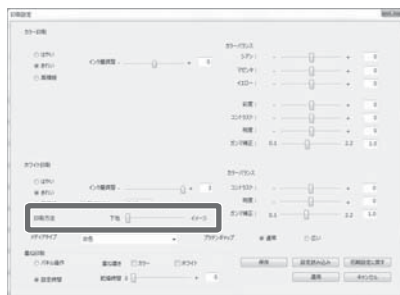
- ・本アプリケーションは、カラー印刷とホワイト印刷の編集領域を個別に持っています。カラー印刷のデータとホワイト印刷のデータはそれぞれ編集してください。
- ・ホワイト印刷データも、印刷までの間はカラー表示します。

[5]



「印刷設定」をクリックします。

[6]



ホワイト印刷の目的に合わせて、[ホワイト印刷] の[印刷方法] のスライダを変更します。

- ・ 下地：ホワイトで下地を印刷する場合に設定します。
- ・ イメージ：ホワイトで諧調のある画像を印刷する場合に設定します。
- ・ 下地とイメージの中間：ホワイトインクの使用量を減らしたい場合に設定します。

[7]



[適用] をクリックします。

[8]



[印刷開始] ボタンをクリックします。

- ・ 印刷ダイアログを表示します。

[9]



[ホワイト印刷] または [ホワイト+カラー印刷] ボタンをクリックします。

- ・ 印刷を開始します。



Note

- ・ 印刷中にメディアの膨張によって障害物エラーが発生した場合は、以下をご覧ください。
[「印刷中に障害物エラーが発生したとき」P.44](#)
- ・ 印刷後は、かならず後処理を行ってください。
[「後処理」P.45](#)
- ・ 印刷中のデータのファイル名を、プリンターのタッチパネルに表示します。

印刷中に障害物エラーが発生したとき

印刷中に熱によりメディアが膨張し、障害物エラーが発生する場合があります。そのような場合は、高さを下げて印刷を続行するか、印刷を中止してください。

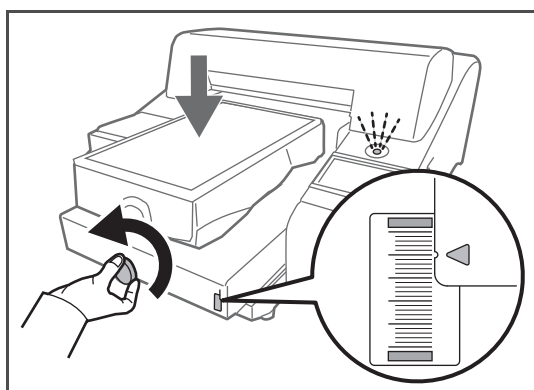
[1]



エラー画面を確認します。

- 印刷を続行する場合は、手順 2 へ進みます。
- 印刷を中止する場合は、[いいえ] を押します。

[2]



テーブル昇降ダイヤルを回して、テーブルの高さを下げます。

- テーブルの右端の目盛りを見ながら、プリントヘッドとメディアの距離が開きすぎないように、少しずつ下げてください。
- サブ電源ボタンの点滅が止まるところまで下げてください。

Note

- 目盛りは 1 目盛り 1 mm です。
- プリントヘッドとメディアの距離が大きくなると、印刷品質が低下します。プリントヘッドとメディアの距離はギリギリまで近づけてください。

[3]



[はい] を押します。

- プリンターが印刷を再開します。

5. その他のアプリケーションソフトから画像データを印刷する

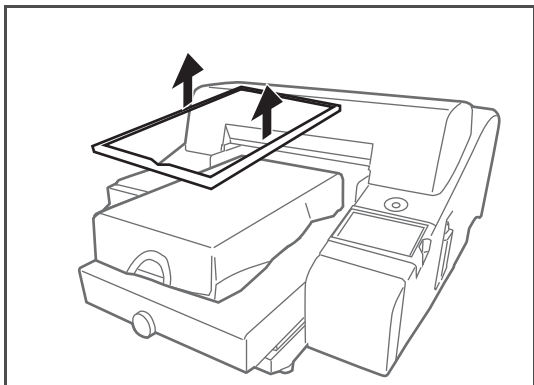
Layout and Print Tool 以外の画像アプリケーションから印刷することができます。プリンタードライバーから印刷する方法については、取扱説明書をご覧ください。

 [取扱説明書「その他のアプリケーションソフトから画像データを印刷する」p.50](#)

後処理

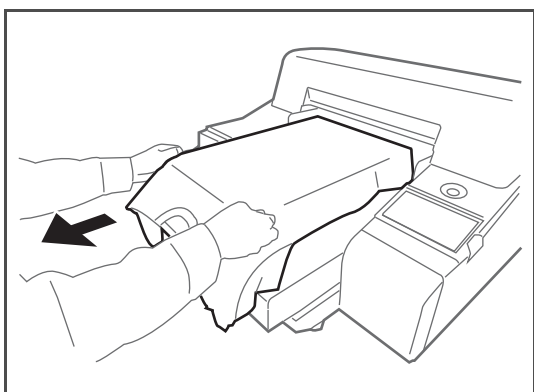
印刷後、インクを定着させるためにヒートプレスでの処理が必要です。処理が終わるまで印刷面に触れないようにしてください。

[1]



枠を取り外します。

[2]



Tシャツを取り外します。



Note

- ・インクが乾燥していないため、触るとインクが付着します。インクに触れないように注意してください。
- ・インクが皮膚に付着した場合は、インクの安全データシート（SDS）に記載されている応急処置方法に従ってください。

[3]

ヒートプレスでインクを定着させます。

👉 [「ヒートプレスの使用について」P.34](#)

👉 [「インクの定着条件（ヒートプレス）」P.34](#)



Note

印刷後 5 分以内にヒートプレスをかけることをおすすめします。



Important!

- ・1日の作業終了後は、必要に応じて、専用インク注意シートを見ながら各部の清掃を行ってください。
 - ・終了するときは、電源はオフにせず、かならずスリープモードにしてください。
- 👉 [「スリープモード」P.46](#)

スリープモード

本製品を使わない場合は電源をオフにせず、かならずスリープモードにしてください。スリープモードにしないと本体内部のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因になります。スリープモード中は以下の動作を行います。

- ・一定時間が経過すると、自動でヘッドクリーニングを行う。
- ・一定時間ごと、経路内のホワイトインクを循環する。

Important!

- ・スリープモードを継続する場合は、下記を行ってください。
 - ・ホワイトのインクカートリッジをかくはんしてください（1日に1回）。
週末などでインクカートリッジをかくはんできない場合は、次の作業開始前に、インクカートリッジをかくはんしてください。
 - ・インクの残量を確認し、「インク残りわずか（インク色名）」が表示されたインクを交換してください。
 - ・クリーニングワイパーとキャップ、プリントヘッド周辺を清掃してください（1週間に1度）。
- ・本製品は1週間に1度は使用してください。長時間放置すると、プリントヘッドのノズルが詰まり、故障の原因となります。
- ・製品を長期間（1週間以上）使わないときは洗浄液を充てんして保存してください。

👉 取扱説明書「輸送と長期保存」P.122

手順

- [1] 製品の動作状態について以下を確認します。
- ・フロントカバー、カートリッジカバーが閉じていること。
 - ・インクカートリッジの残量が十分にあること。
 - ・廃液ボトルの空き容量が十分にあること。

Important!

スリープモードを継続する場合は、廃液ボトルを空にして、廃液カウンターをリセットしてください。

[2]



[MAINTENANCE] キーを押します。

[3]



[Sleep Mode] キーを押します。

- ・確認メッセージが表示されます。


[4]



「はい」を押します。

- テーブルがメディアセット位置に移動します。
- スリープモードを開始します。
- スリープモードから復帰する場合は、サブ電源ボタンを押します。

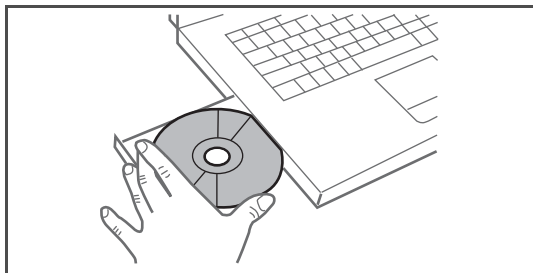
 Important!

- スリープモードから復帰したときに、操作パネルにメッセージが表示された場合は、メッセージにしたがってインクカートリッジをかくはんしてください。
- スリープモード中にエラーが発生した場合、サブ電源ボタンが高速で点滅します。以下を参照して、対処をしてください。
 取扱説明書「通常使用時に発生するエラーメッセージと対処方法」P.139

マニュアルの閲覧方法

付属 CD 内のマニュアルを見るには、次の手順で行います。

[1]



付属の CD をコンピューターの CD/DVD ドライブにセットします。

- セットアップウィザードが自動的に起動します。
- 自動的に起動しない場合は、CD/DVD ドライブのアイコンを右クリックして開き、VjTotalInst.exe をダブルクリックしてください。

[2]



「メインメニューへ」をクリックします。

[3]



「マニュアル」をクリックします。

[4]



見たいマニュアルをクリックします。

安全にお使いいただくために

大切なお知らせ

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

受信障害について



本製品は弱い電波を出すので正しく設置・使用されていない場合には、ラジオやテレビの受信障害の原因となることがあります。

もし本製品がラジオ・テレビ受信の障害原因と思われましたら、次の方法を組み合わせて防止してください。



- ・ 受信アンテナやフィーダーの方向を変えてみる
- ・ 本製品の使用方向を変えてみる
- ・ 受信機と本製品の距離を変えてみる
- ・ 本製品と受信機とは別系統の電源ラインを使用してみる

安全表示について

警告と注意の意味

 警 告	回避しないと死亡または重傷を招く可能性がある危険な状況の場合に使用します。
 注 意	回避しないと軽症または中程度の損害を招く可能性がある危険な状況の場合、または製品の全部または一部が損傷する場合に使用します。

図記号の意味

警告記号	意味
	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。















Note








安全表示中の本体の各部名称については、取扱説明書の「はじめに」をご覧ください。

感電・ショート・火災について

警 告

-  湿気やホコリの多い場所に設置しないでください。
感電・火災の恐れがあります。
-  破損した電源ケーブルを使用しないでください。
感電・火災の原因になります。
-  濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。
-  以下の場所には、アース線を接続しないでください。
 - ・ガス管
引火や爆発する恐れがあります。
 - ・電話線用アース線および避雷針
落雷時に大量の電流が流れる可能性があります。
 - ・水道管および蛇口
配管の途中がプラスチック製になっている場合は、アースの役目を果たしません。
-  通風孔などの開口部から製品内部に、金属類や燃えやすいものを差込んだり、落としたりしないでください。
感電・火災の原因となります。
-  異物や水などの液体が製品内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
すぐに電源ボタンをオフし、電源プラグをコンセントから抜いて、カスタマーサポートまでご連絡ください。
-  必ず指定の電源を使用してください。
指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。
-  電源コンセントから直接電源を取ってください。
タコ足配線はしないでください。
発熱し、火災の原因となります。
-  電源は必ずアース端子付きの専用コンセントを使用し、アース線に接続してください。
アース線を接続しないと、感電・火災の原因となります。
-  各種コード（ケーブル）は、本書で指示されているとおりに配線してください。
配線を誤ると、火災の恐れがあります。
-  必ず指定の電源ケーブルを使用してください。
 - ・指定品以外の電源ケーブルを使用すると、感電・火災の原因となります。
指定の電源ケーブルについては、販売店までお問い合わせください。
 - ・電源ケーブルは保護接地端子を備えたものとし、確実にコンセントに接続してください。
 - ・電源ケーブルは使用する国の安全規格、電源電圧、プラグ形状に適合したものを使用してください。
-  毛布やテーブルクロスのような布を本製品にかけ、通風孔をふさがないでください。
通風孔をふさぐと本製品内部に熱がこもり、火災の恐れがあります。

注 意

-  電源ケーブルを取り扱う場合は、以下の点に注意してください。
 - ・電源ケーブルを加工しないこと。
 - ・電源ケーブルの上に重いものを載せないこと。
 - ・電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないこと。
 - ・電源ケーブルを熱器具の近くに配線しないこと。
-  電源プラグを取り扱う場合は、以下の事項に注意してください。
取り扱いを誤ると火災の原因となる恐れがあります。
 - ・電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
 - ・電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。
-  本製品内部に水気が入らないように注意してください。
電気回路がショートする恐れがあります。
-  ネジで固定してあるカバー類は、絶対に開けないでください。
感電または故障する恐れがあります。
-  専用スタンドを取り付けるときは、必ず本製品の電源をオフにして、電源プラグも抜いてください。
感電の恐れがあります。
-  本製品を長期間使用しない場合は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
-  アース線は、必ず以下の規格を満たすアース線に接続してください。
 - ・電源コンセントのアース端子
 - ・銅片を深さ 650mm 以上の地中に埋めたアース線
 - ・D 種接地工事を行っている接地端子

設置について

警 告



本製品を以下の場所には設置しないでください。
転倒・転落により、けがをする恐れがあります。

- ・ぐらついた台の上
- ・傾いている場所
- ・他の機械等の振動が伝わる場所

注 意



本製品を傾けたり、立てかけたり、上下を逆にしないでください。

内部のインクが漏れる恐れがあります。
また移動後の正常動作が保証できません。



本製品は水平の状態を保ったまま移動してください。



本製品を開梱または移動する場合は、必ず 4 人以上で作業してください。

取り扱いについて

警 告



本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。

転倒・転落によりけがをする恐れがあります。

注 意



クリーニングワイパーおよびプリントヘッド外周の清掃時は、以下の点に注意してください。

- ・インクが直接手に付かないよう、手袋を着用してください。
- ・クリーンスティックは再利用しないでください。
付着したホコリ等により、プリントヘッドが破損する恐れがあります。



クリーニングワイパー清掃時は、以下の点に注意してください。

- ・クリーニングワイパーおよびヘッドキャップユニットには手を触れないでください。
油脂が付着してヘッドクリーニングが正常に行えなくなる恐れがあります。
- ・必ずクリーンスティックを使用して、メンテナンス液で拭きとってください。
クリーンスティックに水などを付けると、プリントヘッドが目詰まりする原因となります。



シンナー、ベンジン、アルコール等の揮発性薬品は使用しないでください。

プリンタを傷める原因となります。



プリントヘッド外周を清掃するときは、以下の点に注意してください。

- ・プリントヘッドのノズル面には絶対に触れないでください。
プリントヘッドが破損する恐れがあります。
- ・クリーンスティックの先端には手を触れないでください。
油脂が付着してプリントヘッドが破損する恐れがあります。
- ・クリーンスティックの先端に水などを絶対に付けないでください。
プリントヘッドが破損する恐れがあります。



作業場所は換気をしてください。

臭いで気分が悪くなったり火災の原因となります。

消耗品について

警 告



プリンタから出る廃液は、産業廃棄物（事業系 19 品目の内）の廃油（廃インキ）に該当します。産業廃棄物処理法および各自治体の条例に基づき、適正な廃液処理が義務付けられます。廃液処理業者に処理を委託してください。



廃液を他のものと混ぜないでください。廃液が硬化するおそれがあります。

注 意



インクカートリッジを取り扱うときは、インクが目に入ったり、皮膚に付着しないように注意してください。目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こす恐れがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。



インクカートリッジをはじめて使用する前に、必ず安全データシート（SDS）をお読みの上、作業を行ってください。



インクカートリッジを分解しないでください。分解すると、インクが目に入ったり皮膚に付着する恐れがあります。

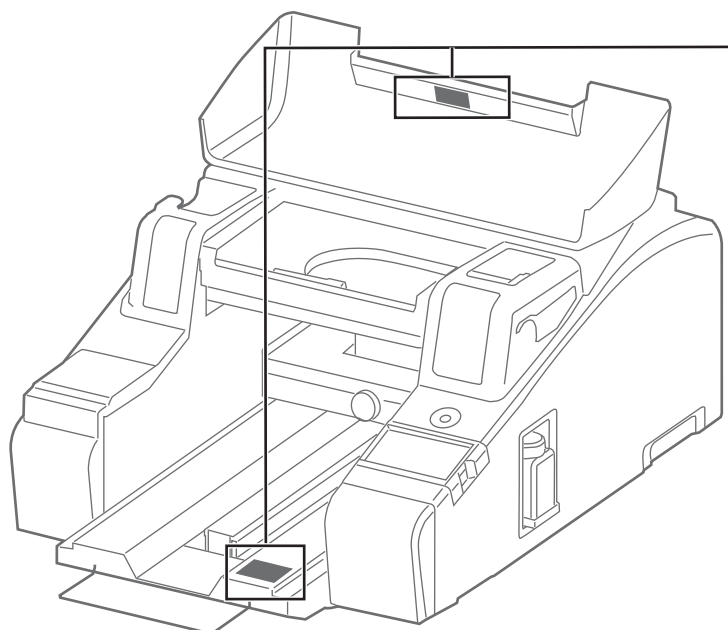


インク充てん中は、以下のことを守ってください。

- ・本製品の電源をオフしないこと。
- ・本製品の電源ケーブルを抜かないこと。
- ・フロントカバーを開けないこと。

警告ラベルについて

本製品の危険箇所には、警告ラベルを貼っています。ラベルの内容は次のとおりですので、必ずお守りください。ラベルが剥がれたり汚れたりした場合は、交換のため販売店にご連絡ください。



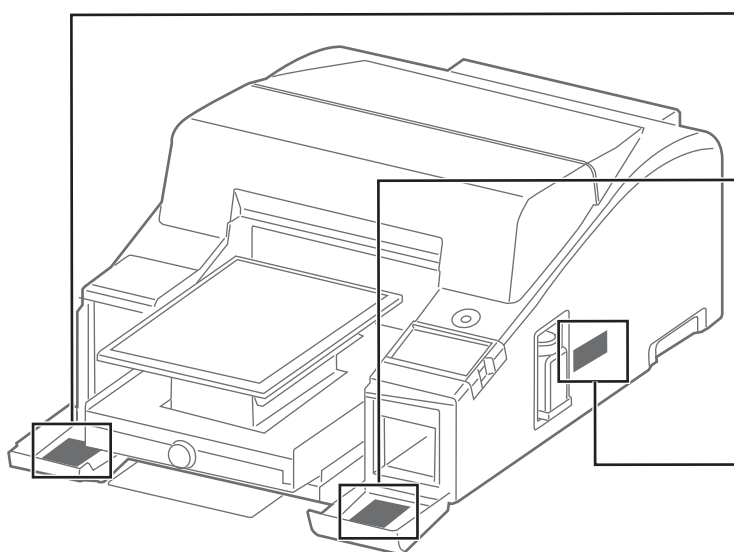
挟み込み注意ラベル

手の挟み込みにご注意ください。

操作説明ラベルについて

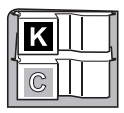
本製品の操作で注意が必要な箇所には、操作説明ラベルを貼っています。ラベルの内容は次のとおりです。

VJ-404GT



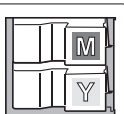
Slot 3

Slot 4



Slot 5

Slot 6



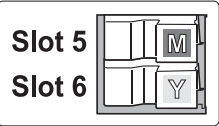
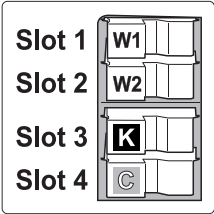
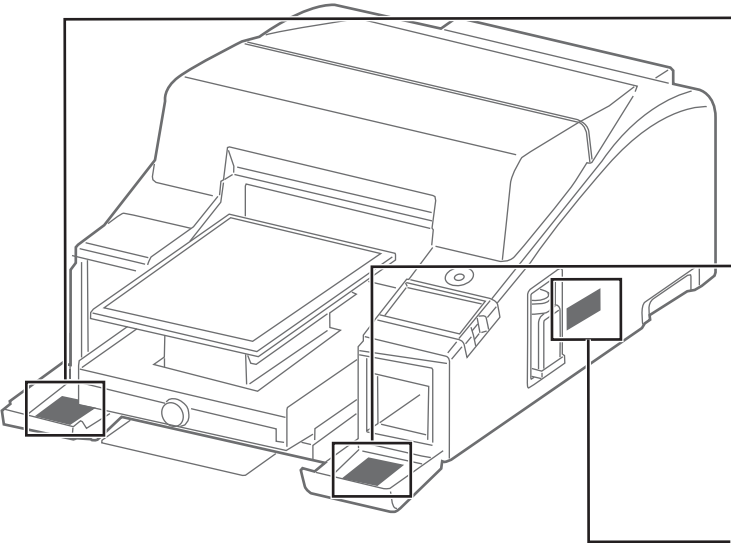
インク色表示ラベル

ラベルに対応するインクカートリッジをセットしてください。

◆When moving this product, always empty the waste ink tank.
If ink splashes inside the waste ink tank while being moved, it can cause damage.

◆本製品を移動するときは、廃液タンクを空にして下さい。
移動時に廃液タンク内でインクがはねると故障の原因となります。

移動時取扱説明ラベル



インク色表示ラベル ラベルに対応するインクカートリッジをセットしてください。

◆When moving this product, always empty the waste ink tank .
If ink splashes inside the waste ink tank while being moved, it can cause damage.

◆本製品を移動するときは、廃液タンクを空にしてください。
移動時に廃液タンク内でインクがはねると故障の原因となります。

移動時取扱説明ラベル

お問い合わせ先

本製品で技術的にお困りのことがございましたら、MUTOH カスタマーサポートまでお問い合わせください。

MUTOH カスタマーサポート

TEL : ☎ 0120-174911

FAX : ☎ 0120-184711

E-mail : gsup@mutoh.co.jp

営業日：月～金曜日（土、日、祝祭日、弊社指定休日を除く）

受付時間：午前 9:00 ～ 12:00、午後 1:00 ～ 5:00

MUTOH